

陳 情 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

受 理 番 号	2 6 9 9	受 理 年 月 日	令 和 4 年 2 月 15 日
件 名	保育料等の値上げの中止等		
要 旨	<p>私たちはたかつかさ保育園の保護者（有志）である。</p> <p>京都市は2021年8月に、行財政改革計画2021-2025の中で、保育料の改定を挙げていたが、2022年4月の保育所入所申込みが既に始まっている段階での値上げ方針に多くの子育て世帯から不安の声が寄せられたことを受け、2021年11月30日、京都市会本会議において、市長が来年度の保育料値上げを見送るという方針を明らかにした。これについては、2022年4月からの入園を希望している子育て世帯は、仕事や家計の見通しが持て、一安心していることと思う。</p> <p>私たち子育て世帯は、仕事をするために保育所に子供を預けている。コロナ禍で保育園休園などにより、突然仕事を休まざるを得ないこともある中で、収入も減り、保育料の捻出が困難になってきている世帯も増えてきている。</p> <p>子供を預けながら大変な思いをしながら夫婦で働いている立場としては、毎日の育児との両立で大変な状況であるのに、更に高額な保育料負担により労働意欲を損ねてしまうことも懸念される。財政難は分かるものの、施設や設備、質が今のままで保育料だけ値上げされることには到底納得がいかない。</p> <p>安心して子育てができる京都市として、保育・子育て環境を充実させ、選んでもらえる京都市のまちづくりを目指していただきたい。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 京都市は今後、子供の保育に掛かる保育料や学童保育の利用料、障害児通所支援等に掛かる利用者負担などの保護者負担を増やさないこと。 2 京都市は、保育料については、子育て世帯に及ぼす影響について、調査や計測などに基づく科学的資料を提示したうえで提案を行うこと。また保育料の決定プロセスには子育て世帯の声を反映する仕組み（意見聴取や議論の場への参加）などを保障すること。 		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		